

2015年度
関西学院大学ロースクール
C日程

一般入試（法学既修者）

商 法 問 題

《12:30～14:00》

○開始の指示があるまで内容を見てはいけません。

【商 法 問 題】

【問題】 次の設例を読んで、問いに答えなさい。

発行可能株式数20万株、発行済株式総数5万株の甲株式会社（以下「甲社」という。）は、自動車部品の製造・販売を行っているが、今般、飛行機の部品を製造・販売している乙株式会社（以下「乙社」という。）との間で、宇宙ロケットの部品の開発及びその部品の販売について、事業提携を行うこととなった。そのため、甲社は、ロケット部品の製造・開発に必要な資金の一部を調達し、同時に乙社との間で資本提携も行うことを企図して、新たに10万株の株式を発行することを計画している（以下、この株式の発行を「本件募集株式の発行」という。）。本件募集株式の発行に際して、甲社は、証券会社及びコンサルタント会社に、甲社の株式価値の算定を依頼したところ、いずれの会社も1株2万円が相当である旨の鑑定評価を行った。

甲社では、2015年1月30日に取締役会が適法に開催され、本件募集株式の発行につき、発行する株式数10万株をすべて乙社に割り当てること、払込期日は2015年2月20日とすること、1株の払込金額は1万円とすること、払込金額の総額10億円のうち、5億円を資本金とし、残りの5億円を資本準備金とすることを決定した。1株の払込金額については、乙社の財務状況を考慮して、1万円と決定されたものである。

甲社の株主Xは、本件募集株式の発行に反対しており、本件募集株式の発行の効力を否定したいと考えている。Xは、本件募集株式の発行の前後において、本件募集株式の発行の効力を否定するためにどのような手段をとることができるか。なお、甲社は公開会社であり（委員会設置会社ではない。）、種類株式発行会社ではない。また、本件募集株式発行に際しては、甲社は適法に公告を行っている。

